

住吉母子医療センター情報誌

き
ら
り

Vol. 2



Topics

風疹ワクチン忘れてませんか？

★小児科医に聞く「母乳の神秘」①

★「ドクターカー」ってしっていますか？

★知って役立つ！小児科マメ知識 「子どもの便秘」

★生殖医療センター&レディース病棟開設

★産後ケア事業に参加します

風疹ワクチン忘れてませんか?

最近ニュースでも耳にすることの多い風疹は、ワクチン接種によって防ぐことができる病気ですが、現在30代から50代の男性はワクチン接種を受けたことがない人が多く、感染が広がることが懸念されています。

妊娠中に風疹に感染した場合、生まれてくる赤ちゃんに先天性心疾患、難聴、白内障などの症状を引き起こすことが知られています。

風邪をはじめとする多くのウイルスによる病気と同じように、風疹についても治療薬はありません。ワクチン接種によって感染を予防することが有効ですが、インフルエンザワクチンと違い、風疹ワクチンは妊娠中に打つことができません。

妊娠初期の血液検査では、お母さんが風疹抗体を持っているかを調べます。

しかし、抗体がない方は、妊娠中に風疹にかかるないように気を付けていただくことしかできないのです。

できれば妊娠前に、ご家族と一緒に風疹抗体の検査を受けて、必要であればワクチン接種を受けてから妊娠していただくのが一番です。妊娠後に風疹の抗体がないことがわかった方は、分娩後に次の妊娠のためにワクチン接種を受けるようにしましょう。

当センターでは、分娩後の入院中のワクチン接種を行っています。

自治体からの補助金が受けられますので、わずかな自己負担でワクチン接種を受けることができます。

※風疹ワクチンの補助内容・対象者は居住地の自治体によって異なります。



母乳育児の神秘

～①母乳の栄養～

赤ちゃんにとって母乳は栄養学的に最良最適で、免疫成分も豊富に含まれています。

母乳は、タンパク質、炭水化物、脂質、水からできており、その分泌時期や、早産か正期産、初乳か成乳、前乳か後乳など、赤ちゃんが母乳を飲むタイミングによって成分のバランスが大きく違ってきます。

早産だったお母さんの母乳では、タンパク質と脂質の成分比が高く、早産でうまれた赤ちゃんに適した成分となっています。

飲ませはじめの「前乳」と、飲ませおわりの「後乳」では、後乳になればなるほど脂質が高くなります。

出生後、1週間くらいまでの母乳は「初乳」といい、タンパク質が多く、免疫成分やホルモンが豊富に含まれます。

初乳以降の母乳を「成乳」といい、必要な栄養と水分を十分にまかなえるようにできており、1歳を過ぎた後も、熱量、タンパク質、ビタミンの大きな供給源となります。

このように母乳は、赤ちゃんの成長にあわせて変化し、栄養となるばかりでなく、赤ちゃんを様々な感染からも守ります。

母乳の神秘や機能について理解を深めて頂き、赤ちゃんたちの健やかな成長にお役立て頂ければ幸いです。

▶次回は②母乳の免疫についてお話しします。

母乳の主な成分

タンパク質：免疫成分やホルモンである機能性タンパク質のホエイタンパクと栄養素であるカゼインからできている

炭水化物：主成分の乳糖と機能性物質であるオリゴ糖からできいて、小腸・肝臓で分解されブトウ糖になる

脂質：トリグリセリド（中性脂肪）・コレステロール・多価不飽和脂肪酸からなり、母乳に含まれるエネルギーの50%を占めている

ドクターカーって しっていますか？

2018年11月から、新生児搬送に対応した救急車『ドクターカー』を導入しました。

地域医療機関での、思いがけない早産や予期せぬ出生時の症状、出生後の急変など、近隣分娩の新生児に関するお困りごとに、新生児科医が今まで以上に迅速に対応できるようになりました。

2018年4月にオープンした「大阪府市共同 住吉母子医療センター」は、まだハイハイができるようになつたばかりですが、これからも地域の方々に支えられながら成長していきたいと考えています。地域の子どもたちと、そのご家族のために一層尽力していきます。



救急車とはどう違うの？

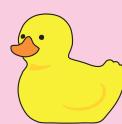
一般的な救急車とは違い、新生児医療に精通した医師が救急車に同乗し、新生児のお迎えに駆けつけます。必要な処置を行い当センターの新生児集中治療室（NICU）まで安全に搬送することができる救急車です。



▶次回はドクターカーの中をご紹介します！



子どもの便秘



知って役立つ!
小児科マメ知識

今回は、「便秘」についてお話しします。

便の回数が少ないか、出にくい事を便秘といいます。
週に3回より少なかつたり、5日以上でない日が続くとき、排便時に痛みや出血があれば便秘と考えます。

便秘が続いて治療が必要な状態を「便秘症」といい、そのままにしておくと便はますます硬くなり、排便時に痛みを伴い、さらに出にくくなつて悪循環になります。

便秘は長引くと治りにくくなり、尿路感染症につながることもあるので、子供の便秘と言えども注意が必要です。
そこで、今回は便秘治療のポイントをご紹介します。

①正しい生活・排便習慣をつけよう!

早寝・早起きをする
朝ごはんを食べる
トイレに行きたくなつたらガマンをしない

②食事に気をつけよう!

適切に水分をとり、食物繊維をとる
(食物繊維は、野菜・果物・豆類・海藻・芋類に)
(多く含まれます)

③お薬を上手に使おう

便をやわらかくするタイプのお薬と、
腸の動きを活発にするタイプのお薬があります
主治医の先生に適切な量を決めてもらい、
正しく飲みましょう

**便秘症はすぐに治るものではありません。
気長に治療を続ける事も大切です。**

NEWS

生殖医療センター＆レディース病棟開設

10月1日、中央館5階西側に体外受精等の不妊治療を行う生殖医療センターがオープンし、同時に5階西病棟が女性専用のレディース病棟としてリニューアルオープンしました。

生殖医療センターは、総合病院内にある強みを活かして他科とも連携の上、卵からゆりかごまで、さらにそれ以降もトータルにお役にたてる医療を提供しています。またレディース病棟内にあり、プライバシーも確保された配置となっています。

「病気があるけど妊娠しても大丈夫かな?」「不妊治療ってどんな内容か聞いてみたいけど治療費が高いのかな?」など、悩んでおられましたら下記お問い合わせ先までお気軽にご相談ください。



バックナンバーは
↑コチラから↑

大阪市の産後ケア事業に参加しました!!

産後ケア事業とは、退院直後に支援が必要な母子を対象にショートステイやデイケアの利用を通じて、母子同室で助産師や看護師等から、からだとこころ・育児のサポートを得られる事業です。当センターも平成30年10月1日より参 加しました。

●心身のケア

母親の健康管理や

産後の生活のアドバイスなど

●育児のサポート

沐浴などの育児技術の指導など

詳しくは、お住まいの保健福祉センターへ♪

※産後ケアは、入院とは異なります。
育児や身の回りのことは、できる限りご自身で
行っていただけます。ご了承ください。

きらりのバックナンバーが読めるようになりました

きらりをお手に取っていただきありがとうございます！

当センターのホームページで、バックナンバーをご覧いただけるようになりました♪

左記QRコード、またはホームページのトップページ下記バナーの大阪府市共同 住吉母子医療センターについてより、大阪府市共同 住吉母子医療センター きらりをクリックして頂ければご覧いただけます。

今後ともきらりをよろしくお願いいたします！

患者のみなさまへ

初めてご来院の方は

紹介状（診療情報提供書）をご持参ください。やむを得ず紹介状なく受診される場合は、通常の診療費とは別に、初診時保険外併用診療費5,400円（税込み）をお支払いいただきます。

事前予約をおすすめします！

地域の医療機関（紹介元）から、当センターの地域医療連携室に依頼して頂ければ、事前に診察や検査の予約（地域予約）が可能です。
詳しくは「医療相談」コールセンターまでお問い合わせください。

医療機関の皆様へ

設置ご協力のお願い

住吉母子医療センター情報誌「きらり」の設置にご協力頂ける医療機関様を募集しております。

貴院への設置にご協力いただける場合、または送付希望部数を変更される場合は、右記QRコードよりメールをご送信いただけますようお願い申し上げます。

✉ Kyuseisogo@opho.jp



お問い合わせ

地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪急性期・総合医療センター

大阪府市共同 住吉母子医療センター

次号は2019年4月予定

月～金 9時～16時30分

06-6692-1201(代表)

「きらり」は、定期に住吉母子医療センターや大阪急性期・総合医療センターの情報を届ける情報紙です。
イベント情報や子育てに関するフジギなどを発信していくたらと思っております。